

## 令和6年度施政方針について

(質問) 鈴鹿市総合計画2023の下、教育ICTを活用した教育環境・施設整備など、公教育の充実に力を注がれてきたが、これまでの認知能力、学力向上の取り組みに加え、今後は実行力、忍耐力、協働・協調性などが発揮できるやり抜く力、生きる力などの、いわゆる非認知能力の育成に注力するとあるが、どのような形で

非認知能力を育成していくのか。

(答弁) 自己肯定感、やり抜く力、自制心、社会性の4つの非認知能力に重点を置いて育成を進めるため、皇學館大学や三重大学からも助言を頂いている。保育所、幼稚園、小学校、中学校が広く連携し、発達段階に応じた非認知能力の育成に、学校教育活動全体で取り組むとともに、家庭とも連携を図ることにより、不登校対策やいじめ対策、虐待防止などにもつながることが期待できることから、全市的に取り組みを推進していく。



## 令和6年度施政方針について

(質問) ①将来世代が政策を選択できるよう、経常的支出の抑制など財政運営の覚悟は。②子育て支援施策を成果検証した視点の転換、地域の相談拠点の設置、人口減少に関しスマートシュリンクの考え、多文化共生社会に関し自治会や地域づくり、住民・市民への支援の考えは。③健全で効率的な行政経営を行うことに対

する考えと覚悟は。

(答弁) ①事務の効率化や事業の精査などにより、事業費増大の抑制に努め、将来に向け、計画的な財政運営を行う。②若い世代の出産・子育てに対する安心感を高める施策を推進する。コンパクトな市街地形成、都市基盤の維持、再構築を図る都市づくりを目指す。多文化共生は大きな転換点、住民同士の摩擦は避けるべきであると考えている。③事業の評価・検証を行い、見直しなどを行うことで、より効率的な行政経営につなげたい。



## 令和6年度施政方針について

(質問) 1①全国学力調査で17年間平均を下回っている認識は。②非認知能力の測定基準は。③電子書籍の使い方は。2①公共施設に市内全域・全種類の防災地図を一目できる掲示を。②通学路などへの車両用防護柵、交差点などへの防犯カメラの設置拡充を。3①効率化・人口減少と職員定数増との整合性は。②職責を自覚し礼節をわきま

るなど、特別職から始める資質向上を。

(答弁) 1①ICTによる授業改善と、紙と鉛筆を使う記述力の育成で学力向上を図る。②市アンケートと全国調査で検証する。③不読率を改善する契機にしたい。2①総合防災マップを全戸配布し、ウェブ版防災マップを公開する。②交通安全施設の施工、公園などへの防犯カメラの設置を継続する。3①定数は上限値で、民間やICT技術を活用して合理化を進める。②公文書の適正な作成と管理を行い、説明や答弁も適切な対応に努める。



## 令和6年度施政方針について

(質問) 未来を育む「こどもまんなか社会」の実現に向けて重要な「子ども条例」の制定について、当事者である子どもたちの意見をどのように聴き取り、条例に反映していくのか。また、デマンド型交通実証運行の導入予定地域の選定と今後のスケジュールについて尋ねる。

(答弁) 「子ども条例」の制定に当たっては、

市議会からの提言を踏まえ、子どもたちを取り巻く現状や課題の把握に、しっかりと時間をかけて、重点的に取り組んでいく。子どもたちや保護者、子育て支援に関わる方々の意見を広くお聴きし、条例に反映するよう検討を深めていく。また、デマンド型交通の実証運行については、応募された地域ごとの特性や、65歳以上の市民を対象としたアンケート結果などの移動実態を整理し、地域を選定した上で、令和6年9月に実証運行を開始する予定である。

